

「廃棄物系バイオマスを利用した燃料電池導入エネルギー循環システムについて」

～有機性廃棄物を燃やさずに電気に変換～

九州大学と西日本シティ銀行および NCB リサーチ&コンサルティング共催の「第15回ビジネス創造交流会」を開催いたします。この会では九州大学やその他大学、研究機関の研究内容や研究成果を地元の企業様に解り易く解説し、講演後の懇談会では研究者と参加者で自由闊達な懇談を行っていただく時間を用意しております。

新規事業の開拓や業務の課題解決の参考にして頂けますよう、奮ってご参加ください。

講演 16:00～17:00

東南アジア地域では、エビやナマズ等の水産養殖が盛んに行われており、同地域の主要な輸出産業になっています。しかしながら、集約的養殖の急速な拡大に伴う養殖汚泥の周辺環境への廃棄やマングローブ林の破壊が生態系に悪影響を及ぼしており、持続的養殖システムの構築が急務となっています。高い経済成長率を維持し、電力需要が急速に伸びている同地域では、電力の安定供給も大きな課題となっており、地域で発生する有機性廃棄物を電力に変換して利活用する地産地消のエネルギーシステムが普及すれば、上記課題を同時に解決に導くことができ、地球規模の低炭素化にも貢献できるものと期待されます。私達は、ベトナム・メコンデルタの集約的エビ養殖場を、地域特有の廃棄物系バイオマス（養殖汚泥、バガスおよびココナツ搾りかす）を利用した燃料電池導入エネルギー循環システムの実証サイトに選定し、2015年4月より、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）の支援による5年間のプロジェクト「高効率燃料電池と再生バイオガスを融合させた地域内エネルギー循環システムの構築」を開始しています。本講演では、上記廃棄物系バイオマスからのバイオガス製造および燃料電池へのバイオガスの直接供給を可能にする触媒材料開発を中心に、プロジェクトの活動状況を紹介します。

講師：九州大学水素エネルギー国際研究センター / 大学院工学研究院 准教授

(しらとり ゆうすけ)

白鳥 祐介

質疑応答、懇談会 17:00～18:00

ファシリテーター：九州大学 学術研究・産学官連携本部 アドバイザー 若林 宗男

平成 30 年 1 月 25 日 (木)

午後 4 時～6 時 (受付開始 午後 3 時半)

申し込み (参加費：無料)

次の必要事項をご記入の上、メールまたは FAX でお申し込み下さい。(書式は自由)

①氏名 ②会社名・部署・役職名 ③電話番号 ④メールアドレス

定員：30名 (締切：1月19日(金)、応募者多数の場合抽選)

申込み先：九州大学 学術研究・産学官連携本部 松尾 宛

Mail: business@airimaq.kyushu-u.ac.jp / FAX: 092-832-2195

問い合わせ

九州大学 学術研究・産学官連携本部 松尾 TEL: 092-832-2126

西日本シティ銀行 地域振興部 大庭 TEL: 092-476-2743



場所：
NCBリサーチ&コンサルティング
セミナー室 (博多座・西銀ビル 13階)
福岡市博多区下川端町 2-1
TEL: 092-282-2662